

まちづくりの目標	5	誰もが学び、成長できるまち
政策	1	生涯学習を通じて心豊かなうるおいと安らぎを感じるまちにします

施策	1	生涯学習活動が活発なまちにします	担当部(統括部)	生涯学習部
----	---	------------------	----------	-------

【実現している姿】

目標	学んだ成果を社会に還元しようとする人が増え、多くの人の知識や技能が社会で生かされています。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)
目標	子どもから高齢者まで積極的に学び続けています。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)
目標	学習や活動をする拠点がより利用しやすくなり、多くの人に役立っています。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)

実現している姿を確認する指標

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
生涯学習指導者の登録数	目標	—	—	21人	—	—	—	—	—	—	—
	実績	19人	18人	※指標の数値元となるリーダーバンク制度が平成22年度に廃止							
公民館講座等の延参加者数	目標	—	—	45,000人	46,000人	47,000人	48,000人	48,000人	48,000人	49,000人	50,000人
	実績	39,960人	44,600人	45,259人	46,843人	45,879人					
市民1人あたりの図書貸出冊数	目標	—	—	4.4冊	4.6冊	4.7冊	4.8冊	5.0冊	5.2冊	5.3冊	5.5冊
	実績	4.3冊	4.3冊	4.54冊	4.4冊	4.2冊					

【施策の展開】◎は重点的な取組み

◎生涯学習リーダーの養成と活動機会の提供						
生涯学習リーダーやコーディネーターを養成し、活動機会を増やすとともに、その人材の活用を促進するため積極的に周知します。						
平成27年度事業	◇せっつ生涯学習大学事業844千円・◇文化財保護事業2,791千円(生涯学習課)					
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	第5期実施計画期間		後期終了年度
				平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	生涯学習大学のカリキュラムの再構築	生涯学習大学のカリキュラムの検証	大学・大学院の卒業生に対してまちづくり研究室への入会を促進し、活動機会が拡充できるよう検討	まちづくり研究室が自主的に活動を行い、活動の機会が拡充できるよう支援	まちづくり研究室が自主的に活動を行い、活動機会の拡充に対する支援について評価	入会した会員の活用を広くPRし、活動機会を拡充
取組実績	生涯学習大学の周知を兼ねて、誰でも参加できるプレ講座(公開講座)を実施した。					
成果	(公開講座)の参加は30人。生涯学習大学は、13人が受講して9人が修了した。					
次年度課題	修了後も継続して多方面で活動してもらえよう、生涯学習大学の目的や動機付けをしっかりと行っていく。					
計画	出前講座で生涯学習リーダー・コーディネーターの活動機会を拡充	出前講座で生涯学習リーダー・コーディネーターの活動機会を拡充	出前講座の講師や受講生に生涯学習大学への受講促進について検討	出前講座の講師や受講生に生涯学習大学への受講促進	大学、大学院の卒業生に対して、まちづくり研究室への入会を促進	入会した会員の活用を広くPRし、活動機会を拡充
取組実績	講座内容を見直し、市民が幅広く学習できるよう講座について検討した。					
成果	出前講座(市民編)が34講座となった。					
次年度課題	講師が増えるよう周知を広げ、講座の内容の充実について検討する。					
計画	ふるさと摂津案内人養成講座を開催	活動場所である、ふるさと摂津講座の充実	幅広い世代が参加しやすいよう、ふるさと摂津講座やふるさと摂津案内人養成講座の内容を検討	ふるさと摂津案内人への入会促進	幅広い世代がいるふるさと摂津案内人の活動機会を拡充	ふるさと摂津案内人の活動機会を拡充
取組実績	ふるさと摂津案内人養成講座を開催した。					
成果	案内人養成講座は、3人が修了。ふるさと摂津講座は149人が受講した。					
次年度課題	ふるさと摂津案内人養成講座の内容の充実を図る。					

◎市民と協働の生涯学習の推進						
市民主体の企画・運営により、生涯学習に関するイベントなどの事業を展開します。						
平成27年度事業 ◇生涯学習まちづくり推進市民会議運営事業169千円・◇生涯学習フェスティバル開催事業720千円(生涯学習課)						
	第5期実施計画期間					後期終了年度
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	生涯学習まちづくり市民会議等に市民の参画を促進	生涯学習まちづくり市民会議等に市民の参画を促進	市民が主体となる生涯学習のまちづくりを推進するため、各団体との連携やリーダー養成講座のありかたについて検討	市民が主体となる生涯学習のまちづくりを推進するため、各団体との連携やリーダー養成講座の実施	生涯学習リーダーやコーディネーターが主体となる協働のイベント等について、企画検討する	生涯学習リーダーやコーディネーターが主体となり、市民、行政とともにイベントを企画運営
取組実績	学識経験者を招き、「観光・まちづくりと生涯学習」というテーマで社会資源の活用に関する研修会を実施した。(1回実施)					
成果	市民や行政職員など38名の参加があった。生涯学習を通じたまちづくりについて学べた。					
次年度課題	行政と市民の「協働」の必要性をより広く周知し、市民の参画の促進を検討する。					
計画	行政・市民・学生との「協働」による生涯学習フェスティバルの展開	生涯学習フェスティバルの事業評価	学びのネットワーク拡大や、学習成果発表の場、体験活動による学びの場としてのフェスティバルの内容の見直し	学びのネットワーク拡大や、学習成果発表の場、体験活動による学びの場としてのフェスティバルの企画立案	学びのネットワーク拡大や、学習成果発表の場、体験活動による学びの場としてのフェスティバルの実施	生涯学習まちづくり市民会議で生涯学習フェスティバルの事業評価を行い、新たなイベント内容を展開
取組実績	人間科学大学の学生にも参画してもらい行政・市民・学生の「協働」による生涯学習フェスティバルを実施した。					
成果	生涯学習フェスティバルへの団体の参加は43団体で「協働」を意識した運営ができた。					
次年度課題	イベントの趣旨を広く周知し、特に学生など若い世代の参画によるフェスティバルの展開を検討する。					

○生涯学習機会の拡充						
公民館講座をはじめとする各種講座の充実や、学習ニーズに対応する多様な学習メニューの充実を図ります。また、子どもが読書に親しむことができる機会の充実を図ります。						
平成27年度事業 ◇公民館講座開催事業4,038千円・◇図書館運営事業120,064千円・◇鳥飼図書センター運営事業6,552千円(生涯学習課)						
	第5期実施計画期間					後期終了年度
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	講座の数を精査し、社会教育施設として公民館が果たすべき役割について議論する	公民館が果たすべき役割に基づき講座内容の見直しをおこなっていく	市民のニーズに対応する各種講座の内容を検討・実施していく	市民のニーズだけでなく現代の社会問題に対応した各種講座の内容を検討・実施していく。	社会教育の分野だけでなく、家庭教育の課題に対応した講座や高齢者同士が交流できる講座など現代の社会問題に即した講座を検討・実施していく	各種講座の充実や、学習ニーズに対応する多様な学習メニューの実施
取組実績	生涯学習機会の提供を目的に、各種講座を実施した。					
成果	各公民館ごとに、子どもから高齢者まで、あらゆる世代が参加できる講座を実施し、学習機会の提供を行った。					
次年度課題	学習ニーズに応じた、各種講座のさらなる拡充を図る。					
計画	市民図書館等で実施している本の読み聞かせ等の充実	読書活動に関わるさまざまな施設・団体・組織の連携により、子どもが読書に親しむ機会を充実	新たに策定する第3次子ども読書活動推進計画に基づき、子どもが読書に親しむ機会の推進	家庭、地域(図書館、公民館)、学校を通じた社会全体で読書活動の推進について推進	家庭、地域(図書館、公民館)、学校を通じた社会全体での読書活動の推進について評価	家庭、地域(図書館、公民館)、学校を通じた社会全体での読書活動の推進
取組実績	「第2次摂津市子ども読書活動推進計画」に基づき、ママパパ教室において保健師より乳児期からの絵本とのかかわりを講話の中に取り入れるなど推進事項を実施した。					
成果	児童読書の増冊とともにテーマ展示を毎月実施するなどして、読書に関心を持ってもらえることにつながった。					
次年度課題	企画啓発・広報の情報交換をより一層進めるとともに、学校図書との情報交換も検討する。					

	第5期実施計画期間					後期終了年度
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	市民のニーズや時代にあった講座の開催	市民のニーズや時代にあった講座の開催	防災や子育てなど地域における学習課題に対応した生涯学習講座の内容を検討	防災や子育てなど地域における学習課題に対応した生涯学習講座の実施	防災や子育てなど地域における学習課題に対応した生涯学習講座の内容充実	市民のニーズや時代にあった講座の開催
取組実績	出前講座は、講座内容を見直し、市民が幅広く学習できるような講座について検討した。					
成果	講座数は94講座から126講座となった。					
次年度課題	出前講座の講師が増えるよう認知度をさらに上げるための周知方法と、講座の内容の充実について検討する。					

○生涯学習の情報提供の充実

生涯学習に関する情報を迅速に分かりやすく提供するため、市広報紙やホームページ内容を充実するほか、多様な手段で情報を発信します。

平成27年度事業						
	第5期実施計画期間					後期終了年度
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	生涯学習に関する一元的な情報提供の方法を検討する	生涯学習に関する一元的な情報提供の方法を検討する	SNSなど新しいコミュニケーションツールの活用など、生涯学習に関する一元的な情報提供の方法について検討	SNSなど新しいコミュニケーションツールの活用など、生涯学習に関する一元的な情報提供の方法について実施	SNSなど新しいコミュニケーションツールの活用など、生涯学習に関する一元的な情報提供の方法について評価	各関係機関との連携を進め、情報発信の整備
取組実績	提供の手法について、検討を行った。					
成果	市民に分かりやすい形で提供する必要を確認できた。					
次年度課題	一元的に管理し、分かりやすく情報提供できる方法について、検討を引き続き行う。					

○生涯学習施設の整備と利用促進

施設のバリアフリー化を推進するとともに、多様な学習ニーズに対応できるよう施設を整備します。また、図書の利用を促進する仕組みを整備します。

平成27年度事業						
◇公民館管理事業51,711千円・◇公民館施設改修事業100,000千円・◇図書館施設管理事業8,428千円・◇鳥飼図書センター施設管理事業3,110千円(生涯学習課)						
	第5期実施計画期間					後期終了年度
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	生涯学習施設のバリアフリー・耐震化を順次推進	生涯学習施設のバリアフリー・耐震化を含め、市民がより一層利用しやすくなるように改修を検討	市民がより一層集いやすくなるように生涯学習施設のバリアフリー・耐震化を実施	生涯学習施設のバリアフリーについて、市民のニーズを調査・分析	市民のニーズを含めた生涯学習施設のバリアフリーを検討	生涯学習施設を多様な学習ニーズに対応できるよう順次整備
取組実績	地元住民の意向などを踏まえ、エレベーター設置、図書コーナー、リハサロン等について検討した。					
成果	耐震工事だけでなく、千里丘公民館の機能拡充に伴う工事について報告性を整理することができた。					
次年度課題	機能拡充への意見が反映された実施設計の作成する。					
計画	図書館内で行うイベントの検証	図書館内で行うイベントの充実	学校などと連携した、図書利用促進のための環境づくりを検討	学校などと連携した、図書利用促進のための環境づくりについて実施	学校などと連携した、図書利用促進のためのイベント等の実施	関係機関と連携し、図書利用促進のための環境を整備
取組実績	前年度に人気のあったイベントを今年も両館で実施した。					
成果	ぬいぐるみのお泊り会を実施した際のおはなし会参加者数が平成24年度比25人増加した。					
次年度課題	現在、イベントの対象年齢に偏りがあるため、大人向けの講座を行うなど幅広い年齢に向けて色々な講座を実施する。					
計画	図書の借り受けに関して近隣市などと広域連携の検討	図書の借り受けに関して近隣市などと広域連携の検討	図書の借り受けに関して近隣市などと広域連携の検討	図書の借り受けに関して近隣市などと広域連携の拡充	近隣市などとの広域連携について評価	図書の借り受けに関して広域連携の推進
取組実績	吹田市と今後の連携について意見交換を行った。					
成果	連携には至らなかったが、広域連携に関する理解が深まった。					
次年度課題	広域連携については、他市の状況をみながら、今後も検討を進めていく。					

【摂津市の特色や魅力のある取組みとして進めていくこと】

せつつ生涯学習大学による人材育成						
生涯学習の場を提供し、習得・向上した知識や技能を地域社会の活性化に生かすことができるリーダーやコーディネーターの養成を図ります。「大学」では出会い・学びを、さらに「大学院」では企画・立案、「研究室」では実践を目的としており、ここで学んだ人材の活用と活動機会の提供を進めます。						
平成27年度事業 ◇せつつ生涯学習大学事業844千円(生涯学習課)						
	第5期実施計画期間					後期終了年度
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	受講者の増が見込める時間帯等の検討	幅広い世代が受講しやすい内容等の検討	幅広い世代に対し、学習意欲を喚起し、大学受講につながるような講座内容の検討	受講者に対し、地域における生涯学習活動の重要性を認識させ、生涯学習リーダーとしての人材育成につながるカリキュラムの実施	大学修了生に対し、地域における生涯学習リーダーとして活動の動機づけを行い、まちづくり研究室などの生涯学習団体への参画を促す	幅広い世代の卒業生による「まちづくり研究室」が自主的に実施する活動を支援
取組実績	生涯学習大学の宣伝を兼ねて、誰でも参加できるプレ講座(公開講座)を実施した。					
成果	(公開講座)の参加は30人。生涯学習大学は、13人が受講して9人が修了した。					
次年度課題	今後のまちづくりを担う若い世代など、色々な人が参加しやすいよう、内容や周知を検討する。					

生涯学習フェスティバルの充実						
市民が中心となった実行委員会によるイベントとして充実を図ります。						
平成27年度事業 ◇生涯学習フェスティバル開催事業720千円(生涯学習課)						
	第5期実施計画期間					後期終了年度
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	市民中心の実行委員会組織となり、生涯学習フェスティバル等のイベントにおいて、参加者が毎年増加するようイベント内容等を充実	市民中心の実行委員会組織となり、生涯学習フェスティバル等のイベントにおいて、参加者が毎年増加するようイベント内容等を充実	学びのネットワーク拡大や、学習成果発表の場、体験活動による学びの場としてのフェスティバルの内容の見直し	学びのネットワーク拡大や、学習成果発表の場、体験活動による学びの場としてのフェスティバルの企画立案	学びのネットワーク拡大や、学習成果発表の場、体験活動による学びの場としてのフェスティバルの実施	市民中心の実行委員会組織となり、生涯学習フェスティバル等のイベントにおいて、参加者が毎年増加するようイベント内容等を充実
取組実績	人間科学大学の学生にも参画してもらい行政・市民・学生の「協働」による生涯学習フェスティバルを実施した。					
成果	生涯学習フェスティバル参加団体に、地域の団体やボランティアグループなど43団体が参加し、「協働」を意識した運営ができた。					
次年度課題	イベントの趣旨を広く周知し、特に学生など若い世代の参画によるフェスティバルの展開を検討する。					